

長崎の林業

小曾根星堂書



冒険の森に新たに設置された展望遊具（長崎県民の森）

7

目次

● 林政だより	森林を守り、育て、活用するための指針 ～地域森林計画の樹立～	2～3
● 特集記事	工夫とチャレンジで山の恵みを届ける 松浦市志佐町「もりやまファーム」	4～5
● 林業普及だより	自らの理想の森林づくり	6
● 地方だより・五島	～自然豊かな島 五島～	7
● 地方だより・県央	県民の森に新しい遊具ができました！	8
● 林業団体情報	長崎県民の森 インタープリターを募集しています	9
● センターだより	長崎市でのナラ枯れ被害について	10
● ながさき県民の森	Acoustic Live (8月1日開催予定)	11
● 長崎の山：戸町岳427m（長崎市）		12



No.778

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ご自由にお持ち下さい。

FREE

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。
「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

林政だより

森林を守り、育て、活用するための指針 ～地域森林計画の樹立～

地域森林計画の概要

地域森林計画は、都道府県知事が、全国森林計画に即して、5年ごとに10年を一期としてたてる計画です。県内では長崎南部、長崎北部、五島壱岐、対馬の4計画区でそれぞれ地域森林計画がたてられています。令和元年度は対馬地域森林計画を樹立しました。

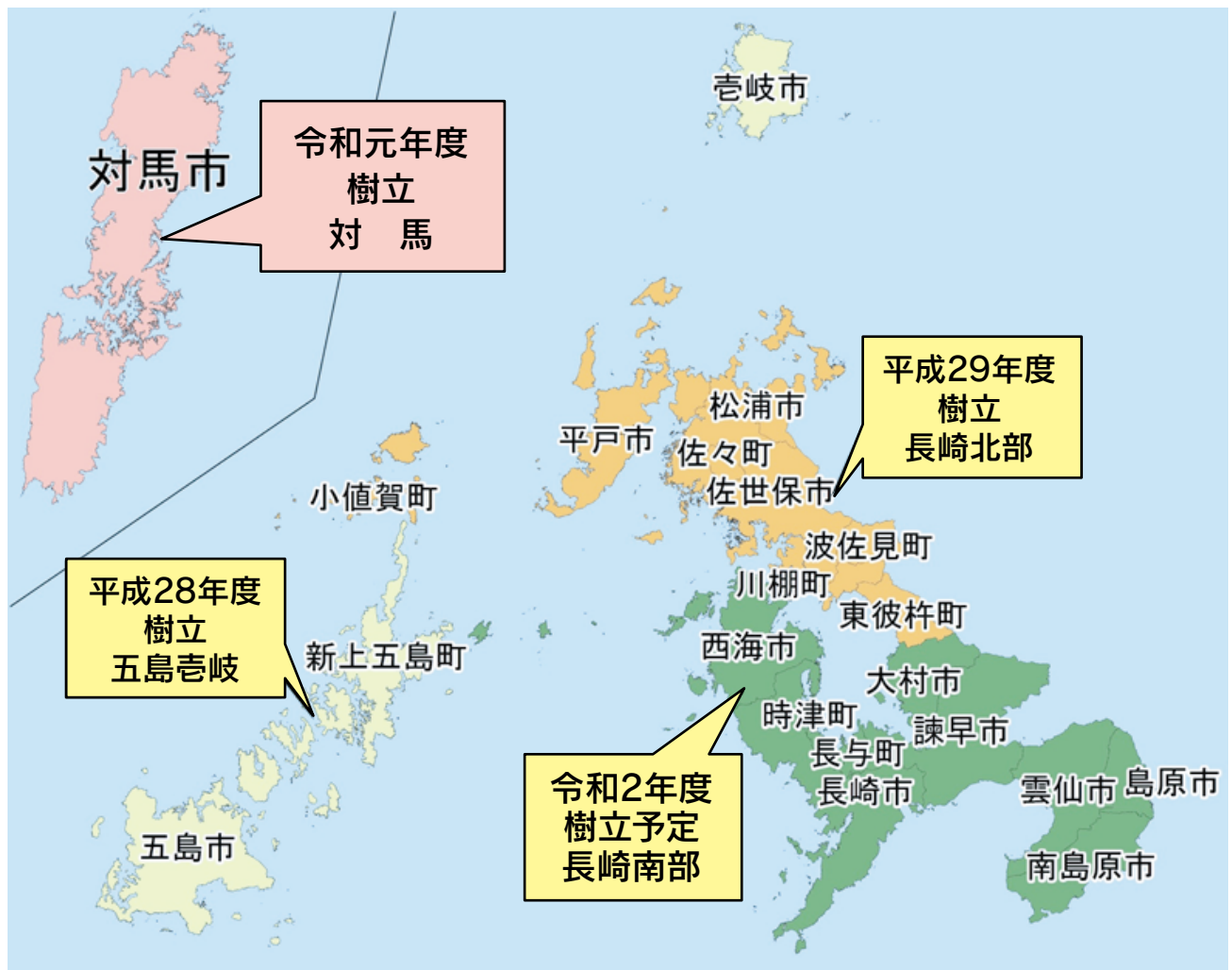
計画の指針として、森林資源を持続的に守り、育て、活用するための基本的な事項を示しています。様々な場面で活用されている森林簿や森林計画図についても、地域森林計画により作成・整備された森林情報です。

地域森林計画の意義

県として、どのような森林関連施策を進めていくか方向性を示し、各計画区の特徴に合わせた森林整備や保全の目標をたてることは、樹木の成熟に長期を要する森林にとって大変重要なことです。このため、地域森林計画は県内の各市町が作成する市町村森林整備

地域森林計画の対象

地域森林計画は、民有林を対象としてたてられます。地域森林計画区域は、保安林制度や林地開発許可制度、伐採及び伐採後の造林の届出制度等の森林法に関わる様々な制度の対象となります。区域につきましては、県の各振興局林業担当課及び県庁林政課森林管理班の窓口にてご確認いただけます。



地域森林計画区域図

令和元年度 対馬地域森林計画の 主な変更点

対馬森林計画区の区域は対馬市の一円です。58,127haの森林を計画の対象としています。令和元年度に樹立した本計画について、主な変更点をご紹介します。

(1) 植栽本数の変更

地域森林計画書には、地域特性を踏まえて、造林の対象となる樹種や植栽本数の目安が記載されています。

これまで、スギ・ヒノキの植栽本数はha当たり2,500～3,000本とされていました。今回、植栽方法の多様化にあわせて、低密度植栽にも対応する植栽本数へ更新しました。

樹種	植栽本数 (本/ha)
スギ	1,500～3,000
ヒノキ	1,500～3,000

(2) 森林経営管理制度に関する方針の追加

平成31年4月に森林経営管理法が施行され、適切な森林管理が行なわれていない森林については、市町が主体となって適正な森林管理を進めていく新たな仕組み『森林経営管

理制度』(新たな森林管理システム)が始まりました。制度の運用開始に伴い、地域森林計画へ本制度の活用に関する方針を追加しました。

おわりに

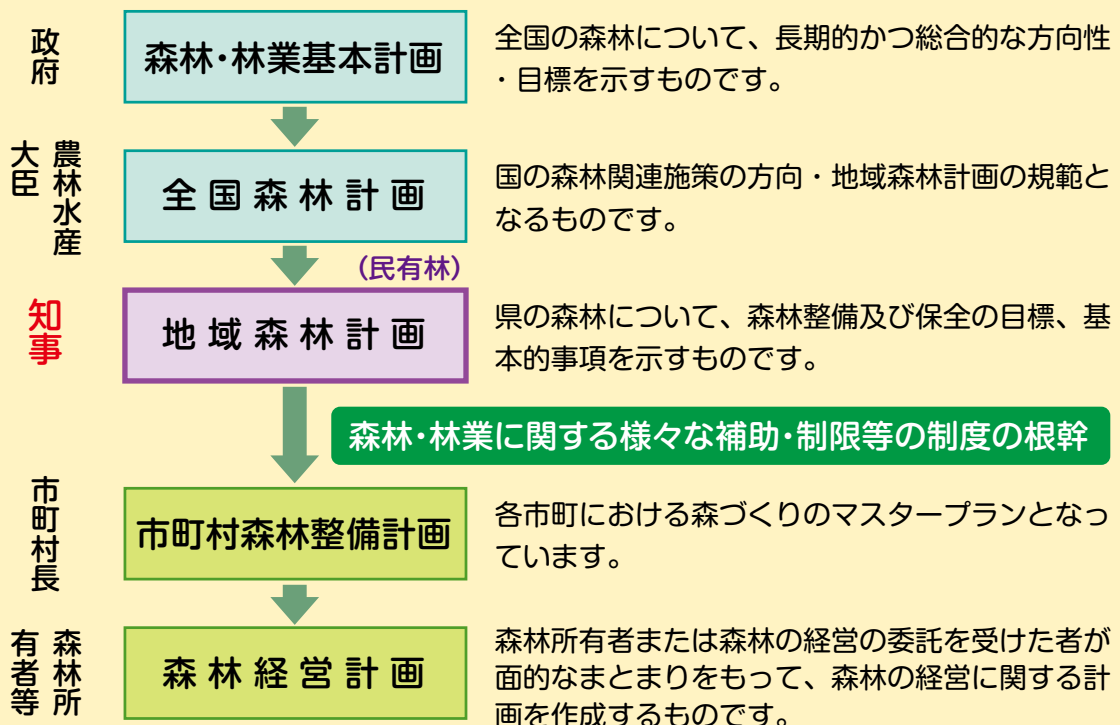
県では、地域森林計画書をインターネット(URL:<https://www.pref.nagasaki.jp/object/kenkaranooshirase/oshirase/423140.html>)で公表しております。県ホームページにて閲覧可能ですので、興味がある方は、「長崎県地域森林計画」で検索してみてください。なお、県の各振興局林業担当課及び県庁林政課森林管理班の窓口でも閲覧することができます。

また、森林簿及び森林計画図等を閲覧・入手する手続きにつきましては、県ホームページの申請書ダウンロードサービス(URL:<https://www.pref.nagasaki.jp/download/ApplicationSearch.php>)をご活用ください。

本計画に関するお問合せは県庁林政課森林管理班(095-895-2984)にお願いします。

(林政課 森林管理班)

森林計画制度については、国から森林所有者まで体系化されています!



森林計画制度の体系

【特集記事】

工夫とチャレンジで山の恵みを届ける

松浦市志佐町

「もりやまファーム」



もりやまファーム経営者 もりやましげよし 守山重義さんと ふさえ 房枝さんご夫妻

自然豊かなまち「松浦市」

長崎県北部に位置する松浦市は、その一部が「玄海国定公園」指定のリアス式海岸と山々が美しい自然豊かなまちです。松浦党水軍発祥の地でもあり、同市鷹島町の沖合にある「鷹島神崎遺跡」は、国内初の水中遺跡として国史跡に指定されました。主に水産業を基幹とし、全国的にもアジの水揚げ、養殖トラフグの生産量日本一等で知られ、最近では「ふるさと納税返礼品」でも着目されています。そんな水産加工品が人気の返礼品の中で、今ファンを増やしているのが同市志佐町の山あいにある「もりやまファーム」の商品。地元の人が九竜山くりゅうざんと呼ぶ小高い山の中腹にあるこの農園では、1年を通して様々な農産品が作られています。長崎平戸藩の家老だった先祖から15代に渡り農業を営んでいる守山重義さんと奥様の房枝さんに話を伺いました。

新しい技術と栽培方法を求めて

名刺に「畑職人」という文字が光る守山さんの本業は生花農家。1年のうち半年間はトルコキキョウやキク、ラナンキュラスなどを生産、出荷しています。畑職人とい

う名の通り、良い商品を消費者にお届けするため、日々努力と工夫を重ねた農法を展開する守山さん。「自分が良いと思うこと、興味があることはすぐに実践したがるんですよ。」と笑う奥様の房枝さんの言葉通り、新しい情報を得ると早々に自ら足を運んで学び、試行錯誤を繰り返し、自分たちの土地柄にあった品種や栽培方法を見つけ出してきました。

キノコの師匠から学ぶ技

そんな守山さんが15年ほど前に卸先の直売所で出会ったのが、佐世保市小佐々町臼の浦でキノコの生産を営む松永俊次さん。今でも「キノコの師匠」と仰ぐ松永さんのもとへ独自の栽培方法を実践したいと現地へ訪ねていったそうです。そこで学んだ技を活かす為、元々はクリ林だった裏山を開き、クヌギを植え、原木シイタケの栽培に取り組みました。気温により使う菌が異なる為、何度も失敗を重ねながら、風土に合った菌種を見つけたそう。10年前から本格的な栽培を始め、今では販売用のパックに収まらないほど大きく立派なシイタケが出荷出来るようになりました。



(左) クリ林だった裏山の原木シイタケ栽培
(右) 車で5分ほどの山で育てられるクヌギ

キノコの栽培 次のステップへ

敷地内に静かに広がるロウバイの木陰の中に整然と組まれたほだ木があります。4年前から始めた「原木キクラゲ」です。実は今回の取材、守山さんのキクラゲを食べた筆者が、あまりの美味しさにリピーターとなりどうしてもお願いしたものでした。プリプリとした食感で香りが大変良く、肉厚で瑞々しい今まで食べたことのない自然の恵み。その美味しさの秘密を探るべく、^{はや}逸る気持ちを抑えながらほだ木を見せてもらおうと、あちらこちらから顔をのぞかせる沢山のキクラゲ。間近で見ると感動していると、「菌がよく回るから、どんなどころからも生えてくるよ。」と、地面すれすれのほだ木の真裏から採った立派なキクラゲの株を手渡し、「どのくらい出てくるかは、生き物同士の陣取り合戦のようなものだから。」と笑って話して下さいました。



(左) キクラゲの手入れをする守山さんご夫妻
(右) 陣取り合戦の結果 (房枝さんより提供)

美味しいキクラゲ作りのために

キノコの師匠である松永さんから栽培方法を学んだ守山さんは、自ら山に入り自然界のキクラゲを観察しました。クヌギやシイには生えないキクラゲ。どの樹木が適当

かを模索しました。その結果、たどり着いたのが、ベニガシワ、イタビ（イヌビワ）、ヤナギ、ゲタ、カキ等。その中でも一番量が多く、しかも成長が早い木はベニガシワだと判明。毎年5月までにコマ打ちします。順調にいくと約半年で出てきますが、温度、風通し、湿度で出来が変わるそう。特に水の管理には気を使うそうです。原木の容量次第で収穫量は変わりますが、大きな原木でも2年で寿命が来るため、新しい木に交換しています。美味しいキクラゲの秘密は、微生物の世界に想いを寄せる守山さんの手間暇かけた栽培方法にあると感じました。

2月に最盛期を迎える生のキクラゲの他、自然風で乾燥させたものも人気で、ふるさと納税返礼品、松浦市と佐世保市のスーパーや道の駅、直売所などで入手できます。おススメの食べ方は、なんとしゃぶしゃぶ。天ぷらにしても美味しいそうです。



乾燥キクラゲの作業場と生キクラゲ

最後に

「昔の農家とは違い、今は1年を通して安定した収入が求められる。」と話す守山さんの農園には、山の恵みである原木シイタケやキクラゲをはじめ、色鮮やかな生花、希少なブラッドオレンジ、接ぎ木を重ね1本の木から数種類の違う品種が収穫できるブルーベリーと、ピンクレモネードという桃の香りの珍しいピンクのブルーベリー、沖縄の島ラッキョウなど、さながら宝の山を探検しているかのような空間が広がっていました。そしてそのひとつひとつに、長年に亘る探求とご主人の想いを支える奥様、ご夫婦二人三脚で歩んできた挑戦の歴史を垣間見た気がしました。

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

自ら理想の森林づくり



山仕事を愛する扇 作エ門さん

対馬市上対馬町在住の扇作エ門さんは、所有林 190ha の森林経営計画（属人）を樹立して林業経営をされています。山仕事が大好きで、植付・下刈り・除伐などの保育作業から、間伐・主伐などの収穫作業を自ら行われています。ここ数年は、搬出間伐や人工造林、主伐・再造林を精力的に実施されています。

※属人：所有林 100ha 以上の方が立てる計画

森林への影響を少なく

伐採後の環境負荷を少なくするため、搬出間伐は定性間伐で実施し、森林作業道は必要最小限の 2.5m 幅に留めてられています。定性間伐での搬出は多少集材に手間がかかりますが、森林のことを第一との考えから取り組まれております。

※定性間伐：木の形質を重視し選木する間伐

防護柵を 2 重に

今春、およそ 3ha の人工造林に初めてコンテナ苗を使い、ヒノキを植栽されていますが、対馬市内ではニホンジカの生息頭数が多く、防護柵で囲わないと新植地は被害を受けます。植栽した苗木すべてが被害を受けることもしばしば。また、イノシシにより防鹿ネットが破損し、そこからシカが侵入して被害を受ける場合もあります。

そのため、防鹿ネットの外側に鉄製のワイメッシュを張られています。防護柵を 2 重とすることで、新植地を確実に保護し

たいとの考えです。

自分が理想とする山に

また、主伐・再造林にも取り組まれています。45 年程前に知人から購入した綾スギを植栽しましたが、根曲がりが多く、自らが求める森林にならなかったため、植え直しを決断。

今は自分が理想とする山を次世代に残すべく、主伐・再造林を進められているところです。



主伐・再造林実施中

育てた森林は後継者へ

扇作エ門さんは、これまで定期的に植栽を行われてきており、これから保育作業が必要になる山林も多くあります。ご子息は別の仕事をされていますが、休日には山仕事の手伝いをされており、ゆくゆくはご子息に山を引き継ぐ予定と伺っています。扇作エ門さんの森林づくりの理念をご子息にも引き継いで欲しいと思います。

（対馬振興局林業課）

地方だより

～自然豊かな島 五島～

現在、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。その影響により在宅時間が増えている中、コロナ禍が収まったらどこかへ旅行へ行きたいと考えている方もいるのではないのでしょうか？その候補地の一つとして「五島」はいかがですか？今回は五島に数多く存在する魅力の一部を紹介していきます。

高浜海水浴場

五島には多くの海水浴場がありますが、有名なのは「高浜海水浴場」です。太陽の光を反射する白い砂浜、それを取り囲む自然の緑、沖に行くにしたがって水色、青色、藍色のグラデーションを生み出す海。この色のバランスにより美しい眺めになっています。また、背後にはハマユウやサキシマフヨウの自生群があり、美しい景観を生み出す一因を担っています。



高浜海水浴場

幻のツバキ「玉之浦」

五島は全国でも有数なツバキの産地であり、その実から精製したツバキ油も有名です。そのツバキの中でも「玉之浦」と呼ばれる品種をご存知でしょうか。「玉之浦」は通常のツバキとは異なり、花びらの外側に白色の縁取りがあり、それがピンク色の花びらや光沢

のある緑色の葉とマッチし、独特の美しさを醸し出しています。五島の南西部に位置する玉之浦町で発見されたのが名前の由来になっており、発見当時は個体数も少なく幻のツバキと呼ばれていましたが、現在では挿し木や接木といった増殖技術の進歩により普及が進んでいます。



「玉之浦」

五島椿園

鬼岳の中腹部に位置する五島椿園には、約270種、3,000本もの椿が植栽されており、数多くの種類の椿を楽しむことができます。また、空港や港が近くにあり、アクセスしやすいことから観光にはうってつけの場所です。



五島椿園

(五島振興局 林務課)

地方だより

県民の森に新しい遊具ができました！



冒険の森 展望遊具

令和2年5月20日（水）に、長崎県民の森（長崎市神浦北大中尾町）の冒険の森アスレチック遊具がリニューアルオープンしました！県民の森には、冒険の森と冒険広場の2つのアスレチック広場があり、子供たちの楽しい遊び場となっています。しかし、近年遊具の老朽化が目立ち、利用者からも遊び場を増やしてほしいなど、様々な声が上がっていました。そこで、老朽化の進んだ冒険の森の遊具の撤去と新しい遊具の新設を行い、子供たちがより楽しく安心して利用できるようになりました。

新たに設置された遊具は、展望遊具、くもの巣登り、流木渡り、丸太平均台、壁渡りの5つです。遊具には長崎県産の杉が使われており、木のぬくもりを感じながら、色んな遊びを楽しむことができます。

公園の利用について

県民の森は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一時期利用が中止されていましたが、5月20日（水）から利用が再開されています。県民の森にはアスレチックだけでな

く、森について楽しく学べる施設もあります。四季折々の自然を楽しめる長崎県民の森へ、ぜひお越しください！



壁渡り



丸太平均台



くもの巣登り



流木渡り

長崎県民の森

〒851-2421 長崎市神浦北大中尾 693-2

TEL 0959-24-0181（管理事務所）

開園時間 9時～17時

（県央振興局 林業課）

林業団体情報

長崎県民の森 インタープリターを募集しています

長崎県では、自然豊かで広大な県民の森において、自然や森林の役割や大切さ、自然の持ついろいろなメッセージを、御自身の体験を通して解説・指導していただくボランティア「長崎県民の森インタープリター（森の案内人）」を募集しております。

募集期間

年間を通じて募集しております。

募集の内容

次のいずれかの部会に所属し、ボランティアで活動していただきます。

- ① 自然観察部会
自然観察会などを通して、県民の森の自然を解説する。
- ② オリエンテーリング・ウォーキング部会
県民の森のフィールド内で、地図の見方を指導し、山歩きの楽しさを伝える。
- ③ 木工クラフト部会
木工館での活動を中心に、木工・クラフトを指導する。
- ④ ネイチャーゲーム部会
ネイチャーゲーム（五感を使った自然の中でのゲーム）を行う。
- ⑤ 天体観測：天文台を使って、星座や天体の解説を行う。



インタープリター活動の様子

応募資格及び参加条件

- 県内にお住まいで、積極的に活動ができる方。
(18歳以上)
- 左記部会の分野に関する知識をお持ちの方。
- 県民の森まで、自家用車等で自力でお越しいただける方。
- ボランティア活動に興味のある方。
- 応募後、研修受講が可能な方。

応募方法

申込用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAXまたは県庁林政課のメールアドレスへお申し込みください。応募後、県担当者よりご連絡させていただきます。

申込用紙は県庁HPから
ダウンロード可能です。



- ※研修を受講後、登録が認められてからの活動開始となりますので、応募後すぐの活動はできません。ご承知の上、応募をお願いします。
- ※新型コロナウイルスの状況により、研修開催が遅れることが考えられます。ご了承ください。

人にもものを教えるのが好きな方、自然が大好きな方、自分の知識や経験を活かしたいという方大歓迎です！

皆様のご応募、お待ちしております。

【お問い合わせ先】

長崎県 林政課 森林活用班

TEL : 095-895-2988 FAX : 095-895-2596

E-mail : s07090@pref.nagasaki.lg.jp

(インタープリター会)

センターだより

長崎市でのナラ枯れ被害について

ナラ枯れとは

「ナラ枯れ」は、ナラ類・シイ・カシ類の樹木を枯らす病原菌「ナラ菌(学名: *Raffaelea quercivora*)」と、この病原菌を媒介するカシノナガキクイムシ(以下、「カシナガ」という。)による樹木の伝染病です。

カシナガの成虫は「マスアタック」と呼ばれる集団加害で樹幹に2mm程の穴をあけ、産卵します。その時に、樹体内にナラ菌が入り、菌がまん延することで樹の通水機能が失われ、葉の変色や枯死に至ります。

長崎県では平成20年に初めて、対馬市厳原町でナラ枯れ被害が確認され、平成28年に五島市でも被害が発生し、平成29年には県民からの通報により長崎市の烽火山でナラ枯れ被害の発生がわかりました。

烽火山での被害状況

長崎市烽火山での被害を、昨年まで3年間調査したので報告します。

平成29年は最初に集団枯損が見られた山頂付近で樹種や樹高・胸高直径、被害状況を、平成30年は前年の被害地の経過観察と、被害が拡大した尾根付近での胸高直径と被害状況の関係を計171本の樹木で調べました。

被害地の林相はマテバシイ、コジイ、シラカシ、クヌギ、クスノキ、ヤブニッケイ、クロキ等広葉樹混交林で優占樹種はマテバシイでした。



写真1. 穿孔被害とフラスの状況

カシナガによる穿孔被害の状況は、調査した171本のうち84%にあたる144本で穿孔

痕やフラス(カシナガの糞や木屑)の排出等の被害がありました(写真1)。

しかし、枯損・萎凋(葉の退色や落葉)の被害をみると、ほとんどの葉が退色・落葉したもののや枯損した樹木は46本と全体の27%であり、その全てがマテバシイでした。

胸高直径別の枯損被害では胸高直径22cm以下の小さいものほど枯損につながる割合が低く、胸高直径が大きいものほど被害が大きくなる傾向がありました(図1)。

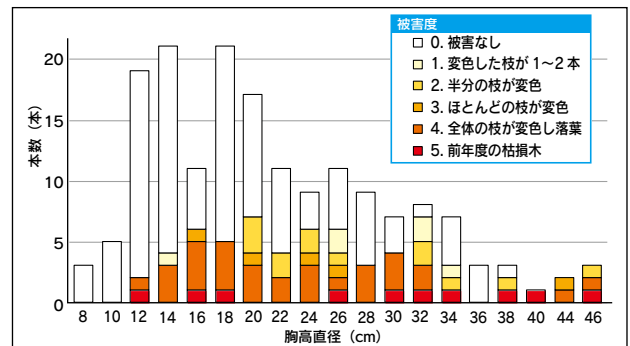


図1. 平成30年度胸高直径別の枯損被害の状況

平成29年の被害でほとんどの葉が落葉したもののでも、翌年に新芽がでて回復しているものも2本あり、穿孔被害を受けると必ず枯れるわけでは無いことがわかりました。

ナラ枯れ被害が発生すると

胸高直径の大きな木が枯れると、遠くから見た時にまとまって枯れているように見えるため、景観上の問題となります。また、ナラ枯れによって枯損した樹木は腐朽が早いので、大きな枝の落下や倒木による被害が起きることも考えられます。

一般的にシイ・カシ類でのナラ枯れ被害の拡散や終息には、規則性がみられません。

今回の事例でも2年の間は被害が拡大しましたが、3年目は集団枯損は発生せず、被害は終息したと考えられます。

しかし、今後も、いつどこで被害が発生するかわかりません。皆様も何か異変に気づいたら、情報提供をお願いします。

(農林技術開発センター)

ながさき県民の森 Acoustic Live (8月1日開催予定)

長崎県民の森キャンプ場はオート（車で入れる）と一般（駐車場に停めて入る）の2種類のキャンプ場があり、バンガロー、常設・芝張サイト等様々なタイプの宿泊施設が整っています。

そのキャンプ場にて、令和2年8月1日（土）、15時30分から「ながさき県民の森 Acoustic Live」を開催します。こちらは県民の森の自然の中で音楽を通して森林を楽しんでもらうこと目的に開催されるもので、県林政職員で結成された「R-band」によるバンド演奏や、親子ユニット「空美風」による二胡・歌・アコースティックギター、「Shiroyama」による鍵盤ハーモニカの演奏を予定しております。

緑豊かな森林の中、キャンプ場の木陰で時に激しく、時に優しく響く音楽を聞きながら、夏の思い出を作りませんか。

内容を詳しく知りたい方は、城山（MAIL：tshiro1970@icloud.com）までお問い合わせください。

※マスクの着用・手洗い等、新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いします。



●演奏予定曲

R-band : バンド演奏

- ・ Oasis、The Rolling Stones カバー 他

空美風 : 二胡、アコースティックギター

- ・ もののけ姫（ジブリ）
- ・ 蘇州夜曲、大海阿故郷、浜辺の歌、賽馬 他

Shiroyama : 鍵盤ハーモニカ

- ・ ひまわり、エトピリカ（葉加瀬太郎）
- ・ vocalise、エリーゼのために、白鳥の湖（クラシック） 他

伊万里木材市況

【ヒノキ】 ヒノキは市売り中止

令和2年6月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16 ~ 18	直	14,000	少ない	少ない	少ない
	16 ~ 18	小曲り	12,000	普通	少ない	少ない
	20 ~ 22	直	14,000	少ない	少ない	少ない
	20 ~ 22	小曲り	12,000	普通	少ない	少ない

【スギ】

令和2年6月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18 ~ 22	直	12,800	少ない	普通	普通
	18 ~ 22	小曲り	12,000	少ない	普通	普通
	24 ~ 26	直	12,800	少ない	普通	普通
	24 ~ 26	小曲り	12,000	少ない	普通	普通

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

長崎の山：戸町岳427m（長崎市）

長崎市上戸町にある戸町岳は標高 427 m、悪所岳、熊ヶ峰、八郎岳と共に登山を楽しむ方が多い山です。戸町岳付近の人工林は昭和 47 年松くい虫被害地に造林が盛んに行われた地で、登山道にも多数のヒノキ林をみることができます。また、水源かん養機能を有する森でもあり、そこから生まれた水は、小ヶ倉ダムに貯水されています。

戸町岳と密接な関係にある長崎市民の森は長崎開港 400 年を記念して開園し、市民のレクリエーションや青少年の野外活動の場となっています。市民の森周辺では多数の森林ボランティア団体が里山林整備に取り組んでいます。



間伐後のヒノキ林

戸町岳を水源とする小ヶ倉ダムは、大正 15 年、市域拡張による人口増加に対応するため建設されたコンクリート造重力式のダムで、見られることを意識した高いデザイン性があり、「白亜のモダンなダム」と言われたこともあるそうです。また、小ヶ倉ダムに繋がる水路（トンネル）が 3 本存在します。1 本は出雲浄水場までの水路（現在は利用されていません）。他 2 本は戸町岳を通っており、1 本は戸町岳南側の大山川から導水する水路、2 本目は水需要の増大や水害防止のため鹿尾ダムまで水路が造られ、昭和 57 年の長崎大水害では、被害減少の一因を担いました。

不思議なことに小ヶ倉ダムは、小ヶ倉町ではなく上戸町にあります。その理由は明治か

ら始まった町村制施行によるものです。始まる以前は大浦町から新戸町までは「戸町村」という名前でした。施行により戸町村の上郷、蓑尾郷は明治 31 年に小ヶ倉村に編入、「小ヶ倉村」に改称した後にダムが完成したため、「小ヶ倉ダム」と名付けられました。昭和 13 年に長崎市に編入したことで名称は更に変化し、「戸町村」の上郷の部分が合わさり、現在使われている上戸町に変化しました。そのため、現在の戸町、小ヶ倉町からは離れている場所にありますが「戸町岳」、「小ヶ倉ダム」という名称が残っています。戸町岳の由来も、戸町村で一番高い山が「戸町岳」だったことからその名前が付いたそうです。

長崎市民の森側から烏帽子岳を経て、登山道入り口から防火帯を進み、最後に絶壁を登った先に戸町岳山頂があります。山頂からは長崎港や小ヶ倉ダム、遠くは角力灘島原半島、熊本県天草等の風景を一度に楽しむことができます。登山で有名な戸町岳ですが、木材生産や水源林として、現在も長崎市民の生活に関わりが深い山です。



戸町岳山頂からみた景色

（NPO 法人地域循環研究所）

長崎の林業 7月号 第778号

編集・発行 長崎県林政課

住所：長崎県長崎市尾上町3番1号

電話：095-895-2988

ファクシミリ：095-895-2596

メールアドレス：

s07090@pref.nagasaki.lg.jp